





**TAP**  
TOKYO CITY UNIVERSITY  
AUSTRALIA PROGRAM

# 東京都市大学 オーストラリア プログラム

## 2026

国内での準備教育と  
オーストラリア留学  
2年にわたる留学プログラム



**東京都市大学**  
TOKYO CITY UNIVERSITY



2026年度 募集要項



## I プログラム基本方針

P2

## I-① プログラム参加に関する基本方針

- I-①-A 歓迎する学生像／参加に際しての注意点
- I-①-B 自己チェックリスト

## II プログラム概要

P4

- II-① プログラムの目標
- II-② プログラムのメリット
- II-③ プログラムの注意点
- II-④ 参加条件
- II-⑤ 参加定員／留学期間／語学準備講座／派遣先大学
- II-⑥ 参加費用
  - II-⑥-A 参加費用
  - II-⑥-B 参加費用納入スケジュール
  - II-⑥-C クレジットカードでの支払い
- II-⑦ 奨学金

## III プログラム参加手続き

P7

- III-① 仮登録からプログラム開始までの手続き
- III-② 仮登録
  - III-②-A 仮登録の概要
  - III-②-B 入学前 仮登録の締切日
  - III-②-C 入学後 仮登録期間
- III-③ 選考
  - III-③-A 選考の実施
  - III-③-B 選考結果の通知
- III-④ 本登録

## IV 準備教育

P10

## IV-① 語学準備講座

- IV-①-A 語学準備講座の概要
- IV-①-B モジュール構成
- IV-①-C クラス編成
- IV-①-D 成績評価
- IV-①-E 欠席・遅刻など受講の注意点

## IV-② 留学中の科目と単位／英語科目の単位

- IV-②-A 科目の単位認定
- IV-②-B TAP 辞退の時期と外国語必修科目受講の時期

## IV-③ 留学準備研修会（予定）

## IV-④ TOEIC®等テスト

- IV-④-A TOEIC®等テストの概要
- IV-④-B TOEIC®等テストの日程（予定）

## V 留学に関するルール

P14

- V-① 出発前の参加取消
- V-② 留学中の参加ルール
- V-③ 返金ポリシー
- V-④ 留学プログラム実施基準
- V-⑤ 誓約書

## VI よくある質問

P20

## VII 保証人の皆様へ

P22

## I - ①

## プログラム参加に関する基本方針

留学は、語学力や異文化理解、自立心を養う貴重な機会です。その一方で、留学生活では予期せぬ出来事や困難も多く、自ら考え、行動する力が求められます。以下の基本方針を十分に理解し、自己責任のもと主体的に留学に取り組める学生のみ参加を検討してください。

## 留学の目的を明確にする

- … 留学の意義を深めるには、目的意識が不可欠です。事前に「なぜ留学するのか」「何を得たいのか」を具体的に整理し、言語化してください。

## すべての手続きを自己責任で進める

- … 手続きは本学の指示・案内に従い、期限を守り、正確に進めることが求められます。遅延や不備がある場合、留学の権利を失うことがあります。

## トラブルや課題は、まず自分で解決する努力をする

- … 留学先での履修や授業、生活、人間関係などで問題が発生した際は、現地の窓口やサポート機関に相談しつつ、自ら解決に取り組んでください。

※ 病気や事故など緊急の場合は、指定の海外サポートデスク等に速やかに連絡してください。対応が難しい場合や判断に迷うときは、国際支援課にご相談ください。

## I-①-A 歓迎する学生像／参加に際しての注意点

留学プログラムでは、以下の「○」項目に当てはまるような資質や姿勢を持つ学生の参加を歓迎します。

留学は学習面・生活面ともに自律的な姿勢と柔軟な対応力が求められます。以下の「×」項目のような傾向が強い方にとっては、十分な成果を得ることが難しい場合がありますので、参加をご検討の際にはご自身に適した学びの機会かどうか慎重に判断してください。

プログラムに向いている人		プログラムが合わないかもしれない人	
○	異なる文化や多様な価値観に対して関心を持ち、尊重しながら人と協働する姿勢を有する方	×	異なる文化や考え方に触れることに強い抵抗感があり、多様な価値観を受け入れることに消極的な方
○	英語での基本的なコミュニケーションに意欲的に取り組み、さまざまな分野の学びに対して積極的である方	×	英語での基本的な意思疎通や挑戦に消極的な方
○	新しい環境や挑戦を前向きに受け入れ、自ら学び行動しようとする主体性を備えている方	×	新しい環境や集団の中で、自ら積極的に行動することが難しいと感じる方
○	海外での生活に対して自律的に対応する意欲があり、生活習慣やルールの違いにも柔軟に適應しようとする姿勢がある方	×	海外での生活に必要な自律的行動（時間管理、生活管理、健康管理など）に不安が大きい方
		×	学びの機会を「観光的な体験」や「一時的なイベント」として捉え、自己成長につなげる意欲が薄い方
		×	自分の意思でなく、周囲からの勧めや指示により参加を考えている方

## I-①-B 自己チェックリスト

以下の項目について、あなた自身の現在の状況や考えに照らしてチェックを入れてください。すべてにチェックがつく必要はありませんが、参加を考えるうえでの参考になります。チェック項目が多いほど、留学の環境や目的に合致しています。チェックがつかない項目に関しては、事前に自分で準備したり、相談したりすることが大切です。

## 1. 学びへの姿勢

- ☐ 異なる文化や価値観に触れることに関心がある
- ☐ 英語に不安はあるが、使ってみたい・伝えたいという気持ちはある
- ☐ 自分の関心分野について新たな視点や刺激を得たいと考えている
- ☐ 新しい環境での学びや体験したことを、自分の成長につなげたいと思っている

## 2. 協働・人間関係

- ☐ 異なる背景を持つ人とも、相手を尊重しながら協力できる
- ☐ 困っている人に声をかけたり、助けを求めることができる
- ☐ 自分の考えを相手に伝えることに前向きである
- ☐ チームやグループで活動することに抵抗はない

## 3. 主体性・挑戦する意欲

- ☐ 新しい環境に入ることに不安はあるが、挑戦してみたいと思っている
- ☐ 困難な状況でも、まず自分で考えて行動しようとする姿勢がある
- ☐ わからないことがあったとき、自ら質問したり調べたりできる
- ☐ 「失敗も成長の一部」として前向きに受け止めたいと思う
- ☐ 留学で実現したい目標がある
- ☐ 人の意見に流されず、自ら考えることができる

## 4. 生活面の自律

- ☐ 洗濯・掃除・片付けなど、日常生活の基本的なことを自分で行っている
- ☐ 時間管理(起床・就寝・集合時間)を自分で守る習慣がある
- ☐ 健康管理(食事・睡眠・体調変化)に日常的に気を配っている
- ☐ お金の管理や支払いなどを自分で行うことに慣れている
- ☐ 海外の生活習慣や食文化の違いに柔軟に対応しようとする意識がある
- ☐ 他人と共同生活を送る際に、配慮や譲り合いの気持ちを持って行動できる



## Ⅱ

# プログラム概要

### Ⅱ - ①

## プログラムの目標

「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」は、1年次からの準備教育と2年次約4ヵ月間の留学を合わせた2年に亘る  
本学独自の国際人育成プログラムです。国際社会で活躍するために必要な語学力・コミュニケーション力・異文化理解力を  
育むとともに、自主性と自立心を養うことを目標としています。

### Ⅱ - ②

## プログラムのメリット

1年次には合計100日間の語学準備講座が開講されます。派遣先大学の入学手続き、航空券や宿泊先の手配なども大学が  
サポートしますので、語学力に自信がなくても、また初めての海外でも安心して留学することが可能です。

■ 登録時での英語力の参加条件なし\*

※国籍によっては、ビザの取得のため英語力の証明書を求められることがあります。

■ 滞在先は自然豊かなオーストラリア・パース!

■ 語学準備講座で留学前に英語を鍛える  
(合計100日)

■ 4年で卒業可能!

### Ⅱ - ③

## プログラムの注意点

TAPIは、本学が補助を行い、教育プログラムとして公式に運営している留学プログラムです。

参加学生は、私費による個人留学や旅行会社等が企画するプランの参加者ではなく、東京都市大学から派遣される留学生として、  
意義ある留学を実現するために主体的に取り組むことが求められます。登録時点で英語力に関する参加条件は設けていませんが、  
語学準備講座への出席状況や成績、提出物の期限遵守など、継続参加に必要なルールが細かく定められています。これらの要件を  
満たさない場合、プログラムの継続は認められません。なお、2024年度入学のTAP生における参加継続不可率は5.2%です。

[出発前の参加取消、参加ルールについての詳細はP14～15\(V-①②\)](#) →

### Ⅱ - ④

## 参加条件

参加条件	
1	2026年度4月入学の本学の正規学生であり、学費の未納がないこと 帰国するまで正規生として在籍すること。留学中の休学は認められません。学費を未納の場合、参加不可となります。
2	語学準備講座や留学研修会、現地大学等が開催するオリエンテーションなど プログラム指定の研修に全て参加すること 無断欠席は、参加の取り消しにつながる場合があります。
3	心身ともに健康であること プログラム参加には、心身ともに健康であることが必要です。既往症や持病、現在治療中の病気がある場合、 必ず主治医等に留学の可否を確認し、必要な指導を受けてください。
4	本学指定の海外旅行傷害保険に加入すること 海外での病気や事故に備え、本学指定の海外旅行傷害保険と危機管理サービスへの加入が必須です。 これはオーストラリアの義務保険(OSHC)とは別で、救援者費用や賠償責任が補償され、キャンセル医療や24時間対応の緊急サポートも利用できます。
5	本学指定の旅行代理店を通して、指定された期限までに査証(ビザ)の手続きを行うこと 各自で査証(ビザ)の手配をすることはできません。必ず本学指定の旅行代理店を通して手続きしてください。

# II

## プログラム概要

### II - ⑤

### 参加定員／留学期間／語学準備講座／派遣先大学

TAPは新1年生のみ参加が可能です。仮登録、本登録を定められた期限までに完了させることでプログラムの参加が認められます。

	サイクル A		サイクル B	
参 加 定 員	環境学部	合計 300名	理工学部	合計 300名
	メディア情報学部		建築都市デザイン学部	
	デザイン・データ科学部*		情報工学部	
	都市生活学部		デザイン・データ科学部*	
	人間科学部			
語学準備講座	2026 年 5 月 ～ 7 月、9 月 ～ 12 月			
留 学 期 間	2027 年 2 月 ～ 5 月		2027 年 8 月 ～ 11 月	
派 遣 先 大 学	エディスコワン大学／マードック大学【オーストラリア パース】			

○渡航期間は学部ごとに決めているため変更することはできません。また派遣先大学も本学により振り分けますので、選ぶことができません。

○学生がサイクルを選ぶことはできません。

※デザイン・データ科学部の学生は、サイクルAまたはサイクルBのいずれかに振り分けられますが、選ぶことはできません。

### II - ⑥

### 参加費用

#### II - ⑥ - A 参加費用

参加費用のうち、「査証(ビザ)取得費用・代行手数料」と「海外旅行傷害保険料」の合計金額約30万円は、本学指定の旅行代理店への支払い(仮払い)となります。オーストラリアのビザ申請費用については、事前の予告なく変更になる場合があります。また、為替レートの変動やビザの申請内容によって、実際にかかる費用は異なってくるため、正式な金額確定後、仮払い金30万円との差額を精算(返金または追加徴収)させていただきます。

・想定される総参加費

**約145万円**

(本学に支払う参加費:115万円 + 本学指定の旅行代理店に支払う参加費:約30万円)

#### ○ 参加費用に含まれるもの

【本学に支払う参加費】以下の費用を含みます

- ☐ 派遣先大学 授業料 ☐ 滞在費(学生寮またはホームステイ) ☐ 公式アクティビティ参加費
- ☐ 往復航空運賃 ☐ 語学準備講座受講料(※別途、教科書代が必要です)
- ☐ オーストラリア連邦政府指定 留学生保険(OSHC) ☐ TOEIC®受験料 ☐ 留学準備研修費

【本学指定の旅行代理店に支払う参加費】以下の費用を含みます

- ☐ 査証(ビザ)取得費用・代行手数料 ☐ 海外旅行傷害保険料

#### ○ 参加費用に含まれないもの(別途自己負担) ※基本的に上記「参加費用に含まれるもの」以外

語学準備講座の教材費、パスポート取得費、自宅から集合場所(空港)までの国内交通費、超過手荷物料金、国際宅急便、食費(※ホームステイの場合、2食付き)、コインランドリー(洗濯)費用、通信費(SIMカード購入費など)、現地交通費(空港～滞在先の送迎を除く)、海外旅行傷害保険の持病・既往症特約、ビザ申請に必要な証明書類の取得費用および、外国籍または二重国籍の場合に課される追加手数料、ビザ申請手続き遅延に伴う追加手数料、健康診断費(移民局から求められた場合のみ)、オプションツアー費、学生寮退去時の清掃費(原状回復が不十分な場合)、火災報知器誤作動による罰金、インロック時の開錠手数料、その他、個人的な支出

## II-⑥-B 参加費用納入スケジュール

		納入期限	納入金額	支払い方法など
①	初回納入金	2026年 4月24日(金)	35 万円	銀行振込のみ。返金不可
	留学費用納入 1 回目	2026年 9月25日(金)	40 万円	・ 銀行振込 ・ クレジットカード ・ オリコ教育ローン ※ まとめて80万の支払いも可能
	留学費用納入 2 回目	2026年 11月27日(金)	40 万円	
②	・ 査証(ビザ)取得費用 ・ 代行手数料	サイクル A 2026年 8月5日(水)	約 30 万円	・ 銀行振込 ・ クレジットカード
	・ 海外旅行傷害保険料	サイクル B 2027年 2月25日(木)		

## ①…本学に支払う参加費 ②…本学指定の旅行代理店に支払う参加費

○本学指定の旅行代理店への支払いに関する詳細は、後日代理店よりご案内があります。

○一度納入された参加費用は、原則、返金いたしません。

ただし、正当な理由による辞退が認められた場合は「返金ポリシー」に基づき、「留学費用納入部分」についてのみ返金が認められることがあります。

初回納入金についてはいかなる理由があっても返金いたしません。

[返金ポリシーについての詳細はP15\(V-③\) →](#)

○留学中も、本学の授業料を納入する必要があります。

○現地での生活費は、近年の円安および世界規模の物価の上昇によって、個人差はあるものの約40～50万円ほどがかかることが多いようです。

これまでのプログラム参加学生による「特派員レポート」も参考にしてください。

[特派員レポートについての詳細はTAPwebサイトへ →](#)

## II-⑥-C クレジットカードでの支払い

本学に支払う参加費のうち留学費用80万円と、本学指定の旅行代理店に支払う参加費はクレジットカードを使用することが可能です。ただし、下記のように手数料がかかる場合がありますので、ご確認ください。

## 【本学に支払う参加費】

- 東急カード … 手数料1.99% ポイント加算なし最大36回払いまでの分割払い可。別途事前の申請が必要です。
- 東急カード以外 … 手数料 2.9% お持ちのクレジットカード(VISA・Mastercard・JCB)で留学費用80万円(本学への支払い分)を納入する振込サービス(学費公共スマート払い)を、ご利用することが可能です。クレジットの設定によっては分割払いも可能です。

## 【本学指定の旅行代理店に支払う参加費】

- 手数料なし
- 支払い回数1回のみ

## II - ⑦ 奨学金

奨学金	対象	金額
① TAP奨学生制度 1年次前期成績、TOEIC®スコア、語学準備講座の出席率と成績を総合的に評価した結果付与される奨学金	上位10名	留学費用80万円+本学指定の旅行代理店に支払う参加費 ※ 留学費用1回目+2回目合計80万円と本学指定の旅行代理店に支払う参加費約30万円が免除されます。初回納入金35万円は返金いたしません。
② TAPアワード 派遣先大学での成績やアクティビティへの貢献度等を総合的に判断した結果付与される奨学金	各サイクル上位10名	1人あたり30万円 ※ 留学後に給付
③ LBAサポート(Let's Be Active in TAP) 留学中における、学生による英語を使った自発的な活動を支援する奨学金	個人またはグループ	活動1件あたり上限5万円 ※ 留学中または後に給付
④ 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)給付型。TAPは過年度実績ではJASSOより採択を受けておりますが、変更の可能性あります。	JASSOの成績基準を上回る学生のうち、各サイクル上位35名	月額9万円×4か月 ※ 過去実績 ※所得基準あり

※①に選ばれた学生は②・④の対象外です。(③は重複可) ※②・③・④は重複可です。



## Ⅲ - ①

## 仮登録からプログラム開始までの手続き

## 仮登録

必須

- 入学前または、入学後のいずれかに仮登録フォームから手続きします。

仮登録についての詳細はP8(Ⅲ-②) →

## 入学前 仮登録【登録締め切り日】

入試の種別ごとに期限を  
設けています。

## 入学後 仮登録【登録期間】

2026年  
4月1日(水)9:00～6日(月)14:00

## 仮登録フォーム

URL <https://krs.bz/tcu/m/2026register>



## ■ 自分が仮登録しているか分からない場合

仮登録後、登録したメールアドレスに完了メールが自動返信にて届きます。メールをお探しいただくか、仮登録フォームからも確認することができます。

## ■ 仮登録方法が分からない場合

国際支援課までお問い合わせください。

## ■ 仮登録を取り消したい場合

取り消しが出来るのは仮登録期間中のみです。専用フォームからお手続きください。

## 選考

仮登録人数が定員を超えた場合、入学時に行う英語基礎学力調査の結果を基に選考を行います。

選考についての詳細はP9(Ⅲ-③) →

・ 選考結果の通知日 **2026年 4月7日(火)** TCUメール(学籍番号メールアドレス)に送信

## 本登録

必須

- 本登録手続き① 「誓約書」の内容を確認の上、オンラインにてご提出ください。
- 本登録手続き② 初回納入金を納入し、本登録完了となります。

誓約書の詳細はP17(V-⑤) → 参加費用納入スケジュールの詳細はP6(Ⅱ-⑥-B) →

・ 本登録期間 **2026年 4月10日(金)～4月24日(金)**

## プログラム開始

- いよいよプログラムがスタートします。  
語学準備講座、留学準備研修会は参加必須です。  
準備教育を経ていざオーストラリアへ!

語学準備講座の詳細はP10(Ⅳ-①) →

・ 語学準備講座開始日 **2026年 5月11日(月) 予定**

※ TAPに参加しない学生は、4月より英語の必修科目が開始されますが、TAP参加学生については、上記の日程に沿って語学準備講座がスタートします。そのため、英語学習の開始時期が異なりますので、ご注意ください。 ※ デザイン・データ科学部除く

## Ⅲ - ②

## 仮登録

## Ⅲ-②-A 仮登録の概要

入学前仮登録期間は入試タイプ別に定められています。  
入学前に仮登録が完了している学生は入学後に再度手続きする必要はありません。

仮登録フォームはこちらから

URL <https://krs.bz/tcu/m/2026register>



- 仮登録は仮登録フォームより行います。  
上記URLまたはQRコードから仮登録フォームにアクセスして必要事項をご記入ください。  
サイトに記載してある【入力上の注意点】をよく読んで、正確に記載してください。
- TAPに参加希望の学生は全員仮登録を行う必要があります。
- TAPに参加する学生は、デザイン・データ科学部の学生を除き、本学の外国語必修科目は履修登録できません。  
(ほぼ同じ時間帯に語学準備講座に参加することになります。) [留学中の科目と単位／英語科目の単位の詳細はP12\(Ⅳ-②\)](#) →
- 仮登録後、登録したメールアドレスに完了メールが自動返信にて届きますので、保管しておいてください。仮登録したかどうか忘れてしまった場合は、メールをお探しいただくか、仮登録フォームからも確認することができます。
- 仮登録をした後で、TAP参加を取りやめ、1年次前期の外国語必修科目を履修したい場合は、2026年4月6日(月)14時までには仮登録を取り消してください。  
それを過ぎると、1年次前期での外国語の履修はできません。 [詳細はP12\(Ⅳ-②-B\)](#) →

## Ⅲ-②-B 入学前 仮登録の締切日

入学手続き期限と同様です。下記の締切を過ぎて仮登録されたい方は、入学後仮登録期間に仮登録していただくか、国際支援課にご相談ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>総合型選抜</li> <li>帰国生徒特別入試</li> </ul>	2025年 12月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般選抜(中期)</li> </ul>	2026年 3月2日(月)
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校推薦型選抜</li> </ul>	2025年 12月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般選抜(後期)</li> </ul>	2026年 3月12日(木)
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際/バカロレア特別入試</li> <li>外国人留学生特別入試</li> <li>付属進学制度</li> </ul>	2026年 1月8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通テスト利用入試(後期)</li> </ul>	2026年 3月24日(火)
<ul style="list-style-type: none"> <li>共通テスト利用入試(前期)</li> <li>一般選抜(前期)</li> </ul>	2026年 2月19日(木)		

## Ⅲ-②-C 入学後 仮登録期間

仮登録は2026年4月6日(月)14時に締め切ります。

・入学後仮登録期間 2026年 4月1日(水)9:00 ～ 4月6日(月)14:00

## Ⅲ - ③ 選考

## Ⅲ-③-A 選考の実施

仮登録者が各サイクル定員の300人を超えた場合、入学時に全員が受験する英語基礎学力調査の結果をもとに選考を行います。各サイクルの定員を超えない場合は、選考はありません。

## Ⅲ-③-B 選考結果の通知

仮登録をした学生全員のTCUメール(学籍番号メールアドレス)に対して、選考結果について送信いたします。

・ 選考結果の通知日 **2026年 4月7日(火)**

## Ⅲ - ④ 本登録

- 仮登録をした学生のみ、本登録をすることができます。
- 期間中に下記2つの手続き(誓約書・初回納入金納入)を行ってください。
- 本登録が完了すると「プログラム参加者」となり、正式にプログラム参加が認められます。
- 仮登録が済んでいても本登録が期日までに完了しない場合、プログラムの参加はできません。
- 仮登録を済ませた後、TAPへの参加を見送る場合は、本登録を行わなければ自動的に仮登録はキャンセルとなりますので特別な手続きは必要ありません。

## 手続き① | 誓約書

▶ 「誓約書」の内容を確認の上、学生本人と保証人様それぞれに同意していただきます。オンラインにてご提出ください。 [誓約書の詳細はP17\(V-⑤\)](#) →

## 手続き② | 初回納入金納入

▶ 初回納入金(35万円)を所定の銀行口座に振込してください。

・ 本登録期間 **2026年 4月10日(金)～4月24日(金) ※締切厳守**



『準備教育』とは、オーストラリア留学を前に、国内にて行われる「語学準備講座(Ⅳ-①)」と「留学準備研修会(Ⅳ-③)」の総称です。

## Ⅳ - ①

## 語学準備講座

### Ⅳ-①-A 語学準備講座の概要

- TAPは語学準備講座の受講が必須です。
- 出発までにTOEIC®550点以上の取得を目指し、経験豊富なネイティブスピーカー講師による授業を、前期(5月上旬～7月中旬)、後期(9月下旬～12月中旬)の合計100日受講します。
- 語学準備講座は単位付与は行われません。
- レッスンカレンダーは、準備講座のWebClassにて確認してください。
- デザイン・データ学部生を除くTAP参加生は、外国語必修科目は履修することはできません。TAPに参加しない学生は英語必須科目が4月よりスタートしますが、語学準備講座のスタートは5月11日となります。

・ 語学準備講座開始日

**2026年 5月11日(月)** 予定

### Ⅳ-①-B モジュール構成

「モジュール」とは下記のような授業の種類を指します。

#### English Communication

・・・ 会話中心。1コマ40分間、週3回。前期30回、後期30回。

#### Writing & TOEIC®

・・・ 書く力を身につける、TOEIC®の出題形式に慣れる。1コマ90分間。週3回。前期30回、後期30回

#### Private Lesson

・・・ 講師と1対1の個別レッスン。前期と後期に各3回・合計6回。1コマ40分。

### Ⅳ-①-C クラス編成

- 入学者全員に実施する英語基礎学力調査のスコアを基にクラス編成が行われます。
- クラス編成の結果は、履修登録の締切日より前に、Webclassにてお知らせいたします。履修登録前に必ず確認し、語学準備講座に出席できるよう時間割を編成してください。
- 語学準備講座のクラスが正課の「必修科目」と重複する場合のみ、講座のクラス変更等の調整が可能ですので、国際支援課にご連絡ください。  
「選択必修科目」、「選択科目」、「教職課程の科目」「再履修科目」などは対象外です。

## IV-①-D 成績評価

各モジュールの成績を総合的に評価します。評価方法等は以下のとおりです。

評価項目	配点	評価方法
英会話レベル	15点	前期末、後期末に独自の評価指標(WCald®)によって、1～7のレベル(1～6はLow・Middle・Highで更に細分化)で分類されます。講座修了時の目標は、4L(TOEIC®スコア550点に相当)です。4Lを15点満点とし、レベルが1段階下がるごとに1点が減点されます。 ※WCaldは、英語知識のみならず英会話能力を含めた総合的な英語運用能力を評価する指標です。
Writing課題	20点	与えられたトピックに関して、レッスンで学んだ内容を取り入れ指定された語数を満たしていることや項目が含まれていることにより評価します。
Presentation	25点	与えられたトピックに関して、文章構成力、内容、レッスンで学んだスキルや態度等が評価されます。
Participation (参加貢献度)	40点	講師の指示に従い、レッスンメイトと活発に英語で会話しアクティビティに積極的に参加しているかを評価します。Private Lessonを含む全てのモジュールの出席状況も評価に含まれます。  遅刻や欠席が多い場合は学習意欲が低いと判断し減点します。English Communication、Writing&TOEIC®のモジュールにおいては、出席率100%で10点、90%で9点、80%で8点というように、出席率が10%下がるごとに1点が、Private Lessonは1回の欠席で3点が減点されます。なおPrivate Lessonに1回も出席されないと、10点減点となります。欠席による減点数は通知されませんので、各自で出席状況を管理してください。
合計	100点	<p>■ 60～100点：合格 … 前期、後期共に「合格」した者のプログラムへの参加継続を認めます。</p> <p>■ 0～59点：不合格</p>



1年次前期または後期の語学準備講座において「English Communication」「Writing & TOEIC®」のどちらか、もしくは両方が出席率80%を下回った場合※、又は、成績が60点を下回り不合格であった場合は参加の取り消しを通知し、その後の語学準備講座や留学には参加できません。初回納入金の返金もありません。

※前期後期各モジュールの授業回数は30回ですので、7回欠席すると80%を下回ることになります。



課題実施にあたり、剽窃(ウェブサイト等からの文面、第三者の文章の書き写し)、AIが生成したものの書き写し、または翻訳ソフト、文法チェックソフトの利用は禁止です。このような行為が疑われた場合、講師より説明を求め、再提出を依頼します。なお、2回目以降は評価対象外(0点)となります。

## IV-①-E 欠席・遅刻など受講の注意点

- 15分未満の遅刻は「遅刻」としてカウントされます。  
遅刻が2回累積すると、欠席1回として扱われます。  
15分以上の遅刻は「欠席」として扱われます。  
また、15分以上の早退も「欠席」として扱われます。  
遅刻や早退をした場合は、「欠席・遅刻・早退届」を必ず提出してください。
- 欠席・遅刻・早退の理由が本学の「公欠」として認められる事由に該当し、公欠の認定を申請する場合には、語学準備講座所定フォームより欠席・遅刻・早退届を提出してください。  
また、ポータルサイト>文書ライブラリ>教学課>(各学部の)公欠の取り扱い>「授業・試験の出欠席と公欠の取り扱いについて」に記載の「提出すべき書類」を必ず添付してください。
- 公欠以外の理由による欠席・遅刻・早退に関しては理由の如何にかかわらず欠席・遅刻・早退としてカウントされます。風邪などの体調不良、持病の悪化、電車の遅延なども公欠にあたりませんので、回数にカウントされます。ただし、語学準備講座所定フォームより欠席・遅刻・早退届を提出した場合は、出席率が80%を下回った場合に行われるTAPへの参加継続審議にて考慮するかどうかの判断材料となります。  
なお、欠席・遅刻・早退理由に関する書類の添付は必須です。
- 一定数以上の欠席があると「継続意思確認通知」が届きます。  
通知後も改善が見られず欠席が続くと「辞退勧告通知」が届きます。
- 正課の授業(実験・実習等)の準備のために、レッスンを早めに退出する必要がある場合は、レッスン講師と所属学科のTAP担当教員の両方に事情を説明し、了解を得るようにしてください。
- Private Lessonは、講師と1対1で行うレッスンですので、無断欠席は厳禁です。  
Private Lessonを欠席する場合は、事前に講師に連絡し、サポートセンターへ欠席届を提出してください。  
なお、Private Lesson のリスケジューリングは、原則できません。  
公欠該当事由の場合のみ、欠席届の提出をもってリスケジューリングの対応をします。
- 出席状況に関する情報は、各学部・各学科のTAP担当教員と共有します。  
出席率の低い学生や受講態度の悪い学生は、随時、大学から面談を求められることがあります。
- レッスン中、日本語の使用は認めません。  
講師の話が理解できないときは英語にて質問してください。  
日本語を多用した場合、講師が「警告」を発します。  
1レッスン内に「警告」を3回受けると講師がその場で退室を命じます。  
また、そのレッスンは欠席扱いとなります。
- 課題(特にWriting課題)は期限までに提出してください。  
レッスンに欠席した場合でも、課題はレッスン講師やクラスの人などに確認して必ず提出してください。
- レッスンには、教科書、筆記用具、ノート等を必ず持参してください。  
何も持たずに出席すると学習意欲が無いものとみなされ、Participation(参加貢献度等)項目の減点対象となります。

## IV - ②

## 留学中の科目と単位／英語科目の単位

## IV-②-A 科目の単位認定

- TAPでは、英語科目4単位と教養科目8単位の計12単位を修得することができます。
- 帰国後、本学所定の審査(教授会判定)により、現地で履修した科目の単位が認定される仕組みです。
- 単位の認定については、自身が所属する学部学科により取り扱いが異なりますので、必ず学修要覧で確認するようにしてください。
- オーストラリア留学により英語科目の単位が認定された場合、TAP参加学生は、1年次に開講される外国語必修科目であるReading & Writing(1a・1b・2a・2b)および Communication Skills(1・2) の履修が免除されます。つまり、TAP生は1年次にこれらの外国語必修科目を受講する必要はありません。

	1年 前期	1年 後期	春期休業	2年前期		夏期休業	2年後期		春期休業 3年次 以降
				1Q	2Q		3Q	4Q	以降
サイクル A 環境学部 メディア情報学部 都市生活学部 人間科学部	語学準備講座 (単位付与なし)		オーストラリア留学						
			英語科目	TAP 教養科目					
			4単位※	2単位	6単位				
サイクル B 理工学部 建築都市デザイン学部 情報工学部	・English Communication ・Writing & TOEIC® ・Private Lesson		オーストラリア留学						
			英語科目	TAP 教養科目					
			4単位※	2単位	6単位				
一般学生の履修する 外国語科目 (参考)	外国語必修単位[4単位] RW(1a・1b・2a・2b) CS(1・2)								
	※現地大学の英語科目の 単位を取得することで免除								
	教養科目・専門基礎科目など学部ごとに指定された科目								

※デザイン・データ科学部はシステムが異なりますので、学修要覧でご確認ください。

## IV-②-B TAP辞退の時期と外国語必修科目受講の時期

留学前において途中で辞退または参加取消がなされた場合、またオーストラリア留学時の英語科目の単位を修得できなかった場合は、本学で開講する外国語必修科目を履修しなければ、進級または卒業に必要な要件(外国語科目の単位数)を満たすことができません。

TAP辞退時期	外国語必修科目の受講
2026年 4月6日(月) 14:00まで <small>仮登録取り下げ期限</small>	1年前期より受講可
2026年 9月9日(水)まで	1年次後期より受講可 (1年次後期と2年次前期に受講)
2027年 3月31日(水)まで	2年次前期より受講可 (2年次前期と2年次後期に受講)
2027年 4月以降	2年次後期より受講可 (2年次後期と3年次前期に受講)



# IV

## 準備教育

### IV - ③

### 留学準備研修会 (予定)

- 下記のスケジュールで留学準備研修会を行います。全員参加が必須です。
- 正課授業と重なり参加できない学生は収録動画を後日視聴していただきます。
- 下記のスケジュールは予定であり、今後変更する場合があります。
- 保証人の方はウェブサイトより収録録画をご覧ください。ログイン情報は学生に案内しておりますので、ご確認ください。

		日程	開催方式	開催場所
第1回	サイクルA ～ B	2026年 4月22日(水) 15:30～17:10	対面	世田谷キャンパス (YCに中継あり)
第2回		2026年 6月20日(土) 10:00～12:00	対面	世田谷キャンパス (YCに中継あり)
第3回		2026年 10月17日(土) 10:00～12:00	対面	各キャンパス
第4回	サイクルA	2026年 11月14日(土) 10:00～12:00	対面想定	世田谷キャンパス (61C教室)
第5回 & 壮行会		2027年 1月23日(土) 14:00～17:00	対面	世田谷キャンパス (TCUホール)
第6回	サイクルB	2027年 5月26日(水) 15:30～17:10	対面	世田谷キャンパス (TCUホール)
第7回 & 壮行会		2027年 7月24日(土) 14:00～17:00	対面	世田谷キャンパス (TCUホール)

### IV - ④

### TOEIC®等テスト

#### IV-④-A TOEIC®等テストの概要

- 入学時、出発前及び帰国後にTOEIC®等を実施し、成果を測定します。
- テストはオンライン方式です。指定期間に自宅等から受験可能です。
- 取得したTOEIC®スコアは、派遣先大学にも提供されます。
- TOEIC®テストに未受験があると、適切なクラス分けが困難になるだけでなく、「TAP奨学生」や「TAPアワード」の奨学金審査に不利になります。
- いかなる理由によっても別の日程への振替、追試験を実施しません。必ず指定された期間中に早めに受験してください。

#### IV-④-B TOEIC®等テストの日程 (予定)

L&R =TOEIC® Listening & Reading Test  
S&W=TOEIC® Speaking & Writing Test

日程	試験内容	対象	
		サイクルA	サイクルB
外国語共通教育センター主催 入学時	英語基礎学力調査 … 全新生を対象としたテストです	○	○
2026年 5月1日(金) ～5月7日(木)	TOEIC® L&R … デザインデータ科学部の学生以外全員を対象としたテストです	○	○
2026年 5月26日(火) ～6月1日(月)	TOEIC® S&W … デザインデータ科学部の学生を対象としたテストです	○	○
2026年 7月31日(金) ～8月6日(木)	TOEIC® L&R <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">TAP奨学生選定</span>	○	○
2026年11月24日(火) ～11月30日(月)	TOEIC® S&W / TOEIC® L&R <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サイクルA 出発前</span>	○	対象外
外国語共通教育センター主催 2026年 12月頃	英語基礎学力調査 … デザインデータ科学部を除く1年生全員を対象としたテストです	○	○
2027年 6月1日(火) ～6月7日(月)	TOEIC® L&R / TOEIC® S&W <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サイクルA 帰国後</span>	○	対象外
2027年 6月8日(火) ～6月14日(月)	TOEIC® L&R / TOEIC® S&W <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サイクルB 出発前</span>	対象外	○
2027年11月19日(金) ～11月25日(木)	TOEIC® L&R / TOEIC® S&W <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サイクルB 帰国後</span>	対象外	○

## V - ①

## 出発前の参加取消

下記のいずれかの事項に該当する場合は、TAP参加を取り消します。

参加が取り消された場合、参加費用は「返金ポリシー(V-③)」により精算されます。

- (1) 1年次前期の修得単位数の合計が10単位未満であった場合
- (2) 1年次後期の修得単位数の合計が10単位未満であった場合
- (3) 語学準備講座において1年次前期に、出席率が80%未満のモジュールが1つでもある、または、合格点を満たせなかった場合
- (4) 語学準備講座において1年次後期に、出席率が80%未満のモジュールが1つでもある、または、合格点を満たせなかった場合
- (5) 指定する期日までに、所定の参加費用が納入されない場合
- (6) 健康上の理由で留学に支障をきたす場合、又は、その恐れがある場合

## V - ②

## 留学中の参加ルール

プログラム参加中は、派遣先大学の教職員、学生寮の職員及び東京都市大学の教職員の指示に従ってください。

以下の事項において重大なルール違反があった場合、本学学則に基づき、帰国命令が下ったり、帰国後停学処分となる場合があります。帰国命令が下った場合、帰国にかかる費用等は、その全額が自己負担となります。

## ■ オーストラリア連邦政府および西オーストラリア州政府が定める留学生に関する法律

渡航先では、留学先政府が定める留学生に関する法律を遵守してください。

## ■ 本学・派遣先大学の学則及び規則、学生寮の規則

TAP参加中は、本学・派遣先大学の学則及び規則、学生寮の規則を遵守してください。

## ■ 授業に関するルール

派遣先大学では、出席や授業に臨む態度について、以下のルールを遵守してください。

- ① 授業又は課外活動(アクティビティ)は、100%出席することを原則とする
- ② 英語の授業における出席率が80%未満となった場合は、評価が「不可」となる(英語の単位は修得できない)
- ③ 遅刻は、「欠席」扱いとなる
- ④ 授業中の居眠りや私語は、妨害行為と受け取られ、退室を命じられることがある
- ⑤ 体調不良による欠席の場合は、必ず診断書を取得すること。欠席した授業のフォローは、科目担当者等に自ら確認すること
- ⑥ 授業中は、日本語を使用しないこと。単なる「出席」ではなく、「積極的な参加」が評価基準となる

## ■ アクティビティに関するルール

海水浴では、水難事故に注意してください。また、保険が適用されない活動(スカイダイビングなど)は禁止とします。自身の体調や身体能力を考慮した上で、危険と感じた場合は、日頃慣れている活動でも控えてください。

## ■ 自動車等の運転の禁止

日本国内で自動車免許を取得している場合でも、留学中は運転免許証を必要とする自動車等(自動二輪車を含む)の運転を禁止します。違反した場合は強制帰国となります。

バディなどの運転による自動車に同乗することはできますが、運転者の指示を守りシートベルトを着用してください。

## ■ 就労の禁止

就労(アルバイト)は、TAPの目的と相反するため、禁止です。

## ■ 違法薬物(禁止ドラッグ)・麻薬等の所持及び使用の禁止

渡航先の法律等によらず、薬物の使用はもちろん、所持することも禁止です。

## ■ 旅行・ホームステイに関するルール

週末のほか、派遣先大学ではSemester Break(1週間の休み)があります。  
旅行や友人宅へのホームステイなどが可能ですが、次の点を遵守してください。

- ① 外泊届の提出 : 1日でも外泊をする場合は提出が必要です。PCまたはスマートフォンから登録が可能です
- ② 複数人での行動 : 単独行動はせず、行動の際は必ず複数人で行動するようにしてください
- ③ 国外旅行の禁止 : ビザの制約上、一度渡航先から出国すると再入国ができなくなる可能性があります

## V - ③ 返金ポリシー

本登録完了後は原則として辞退は認められません。

ただし、本学が辞退を許可した場合、および本学がTAPの参加を取り消した場合には、下記記載のキャンセル料を差し引いた残金を返金することがあります。

辞退に際しては、事前に必ずTAP担当教員にご相談ください。

### ● 本学に支払った参加費のキャンセル料

	辞退成立日	キャンセル料
初回納入金 35 万円	本登録完了後は、いかなる理由でも返金不可	
留学費用 80 万円	渡航日の 130日前まで	0 円
	渡航日の 129日～60日前まで	25 万円
	渡航日の 59日～10日前まで	40 万円
	渡航日の 9日～4日前まで	60 万円
	渡航日の 3日前～	留学費用 100%

### ● 本学指定の旅行代理店に支払った参加費のキャンセル料

	辞退成立日	キャンセル料
・ 査証 (ビザ) 取得費用 ・ 代行手数料 ・ 海外旅行傷害保険料 約 30 万円	サイクル A 2026年9月15日以降	44,000 円
	2026年10月中旬以降	44,000 円 + 査証 (ビザ) 実費
	渡航日以降	100%
	サイクル B 2027年3月25日以降	44,000 円
	2027年4月中旬以降	44,000 円 + 査証 (ビザ) 実費
	渡航日以降	100%



## V - ④

## 留学プログラム実施基準

本学は、外務省が発出する海外安全情報において危険情報が発出された場合、以下の基準により原則として統一した対応を取ります。外務省危険情報が発出されていない場合でも、国際情勢、自然災害や突発的な事件・事故を含む現地生活環境、派遣先大学との協力関係や受入体制等により、大学としてプログラムを中止する場合があります。

○東京都市大学留学プログラム等実施基準及び交換留学生等海外派遣基準(抜粋)

危険情報／感染症危険情報	本学の対応
レベル1 十分注意してください	<p>原則として、予定通り実施する。ただし、状況により、大学として中止する場合がある。</p> <p>▼ 情報が発出された時点でプログラム等が実施中の場合は、速やかに次の通り対応する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 海外危険情報を参加者及び保証人の方に伝える。</li> <li>② 原則として、安全情報の入手に努め安全対策を講じた上でプログラム等を継続する。 ただし、情報収集の結果や状況により、大学として中止する場合がある。 本学が中止を決定した場合は、派遣先大学又は旅行会社等と協議し、速やかに日程の変更を行い、安全確認を行った上で帰国措置を講ずる。 なお、帰国後、危険情報の基準が引き下げになった場合でも、プログラム等の再開はしない。</li> <li>③ 帰国措置に伴う追加費用が発生した場合、原則として、その費用は学生本人の負担とする。</li> <li>④ 留学期間が短縮となった場合でも、参加費用の返金はしない。</li> <li>⑤ 留学が途中で中止となった場合、原則、単位の認定はしない。</li> </ol>

危険情報／感染症危険情報	本学の対応
レベル2 不要不急の渡航は止めてください	<p>中止とする。</p> <p>▼ 情報が発出された時点でプログラム等が実施中の場合は、速やかに次の通り対応する。</p>
レベル3 渡航は止めてください (渡航中止勧告)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 海外危険情報を参加者及び保証人の方に伝える。</li> <li>② 派遣先大学又は旅行会社等と協議し、速やかに日程の変更を行い、安全確認を行った上で帰国措置を講ずる。 なお、帰国後、危険情報の基準が引き下げになった場合でも、プログラム等の再開はしない。</li> <li>③ 帰国措置に伴う追加費用が発生した場合、原則として、その費用は本人の負担とする。</li> <li>④ 留学期間が短縮となった場合でも、参加費用の返金はしない。</li> <li>⑤ 留学が途中で中止となった場合、原則、単位の認定はしない。</li> </ol>
レベル4 退避してください。 渡航は止めてください (退避勧告)	

## V - ⑤

## 誓約書

本登録時には、「誓約書」の内容をご確認いただき、学生本人と保証人様それぞれに同意していただきます。

※ 下記の「誓約書」は見本であり、変更される可能性があります。

本登録時には、実際の「誓約書」の内容をご確認ください。

東京都市大学 学長 殿

## 誓 約 書

見 本

私は、本学が実施する「東京都市大学オーストラリアプログラム（以下「本プログラム」という）」の参加に際し、以下の事項を遵守することを誓約します。これらの事項に違反した場合、参加資格の取消等の措置や帰国命令を受けても、一切の異議を申し立てません。

## 【手続に関する事項】

1. 本プログラムへの参加に必要な各種手続については、本学の指示に従い指定された期日までに速やかに完了します。
2. 参加費用は、本学の指示に従い、指定された期日までに納入します。
3. 本学が指定する海外旅行傷害保険及びオーストラリア連邦政府が義務付ける留学生用健康保険（OSHC）に加入します。

## 【準備教育について】

4. 本プログラムの目的を十分に理解し、準備教育（語学準備講座及び留学準備研修会）には、原則として100%出席します。
5. 語学準備講座は、留学に向けた英語力の向上を目的とした特別講座であり、単位認定科目ではないことを理解した上で、真摯に受講します。

## 【ビザについて】

6. ビザの申請が本学の定める所定の期日より遅れた場合や、申請内容に不備により、ビザセンターまたはビザ手続きを代行する旅行代理店より追加費用（手数料や航空券代等）の請求があった場合には、その実費を自己負担します。また、国籍等の理由により追加手数料等が発生した場合も、その実費を自己負担します。
7. オーストラリア移民局または派遣先大学の判断により、英語力証明書、銀行残高証明書、健康診断書、戸籍謄本等の追加書類の提出を求められた場合にはこれに従い、発生した費用は、その実費を自己負担します。
8. オーストラリア移民局の判断により、ビザが発給されない、または発給が遅れる可能性があることを理解しました。ビザの不発給により出発できないことが確定した場合には、参加費用はTAP募集要項記載の「返金ポリシー」により精算されることに同意します。また、ビザの発給の遅れにより出発が遅延した場合には、参加費用の返還等は認められないことを理解し、その返還等を一切求めません。

**【出発前の参加取消】**

9. 学生本人が以下の(1)から(9)のいずれかに該当する場合には、本学が本プログラムへの参加を取り消すことに異議なく従います。また、参加費用はTAP募集要項に記載の「返金ポリシー」により精算されることに同意します。

- (1) 本学における1年次前期の合計修得単位数が10単位未満であった場合
- (2) 本学における1年次後期の合計修得単位数が10単位未満であった場合
- (3) 語学準備講座において1年次前期に、出席率が80%未満のモジュールが1つでもある、または、合格点を満たせなかった場合
- (4) 語学準備講座において1年次後期に、出席率が80%未満のモジュールが1つでもある、または、合格点を満たせなかった場合
- (5) 上記(1)～(4)のほか、TAP募集要項に定める事前手続・事前準備をしない、または、それに関する定めに違反がある場合
- (6) 本学が指定する期日までに参加費用等の納入がなかった場合
- (7) 健康上の理由により留学に支障をきたす、または、その恐れがあると判断された場合
- (8) 大学の品位を損なう恐れのある行為があった場合
- (9) 以上に類する事情があり、本学が参加を取り消すべきと判断した場合

**【留学中について】**

10. 留学中、学生本人は以下の(1)から(5)の事項を遵守します。これらに違反し、派遣先大学または本学から「帰国命令」を受けた場合には、それに従い速やかに自ら帰国便の手配を行い帰国します。この場合、本学に対し参加費用の返還を求めません。また、帰国にかかる諸費用は本人または連帯保証人が負担します。

- (1) オーストラリア連邦政府及び西オーストラリア州政府が定める法令、本学ならびに派遣先大学の学則及び規則、学生寮の規則、またはホームステイ会社の定めるルール及びホームステイ先のルールを遵守します。
- (2) 「留学に際してのルール及び禁止事項」(「TAP募集要項」記載)を遵守します。
- (3) 留学中の授業には、原則100%出席します。セメスターブレイク以外に授業を欠席して旅行に出かけた場合や、正当な理由なく出席率が80%を下回った場合に発せられる帰国命令に従います。
- (4) 留学中の課外活動(アクティビティ)は公式プログラムであることを理解し、原則100%出席します。
- (5) 留学中は、派遣先大学の教職員、学生寮の職員および本学の教職員の指示に従います。

11. 上記による帰国のほか、留学期間中に学生本人の希望や病気等の理由によりプログラムの継続を断念し自主的に帰国する場合であっても、本学に対し参加費用の返還を求めません。また、帰国にかかる諸費用は学生本人または連帯保証人が負担します。

12. 留学中に、病気や怪我等を理由として、派遣先大学または本学から、「帰国命令」を受けた場合は、それに従い速やかに自ら帰国便の手配を行い帰国します。この場合、本学に対し参加費用の返還を求めません。帰国にかかる諸費用は学生本人及び連帯保証人が負担します。

13. 病気や怪我等により医療機関での治療が必要な場合において、その費用が海外旅行傷害保険の補償限度額を超える部分や海外旅行傷害保険の補償対象外である場合には、その費用を学生本人及び連帯保証人が負担します。

14. ①留学中は、キャンパス内外を問わず危険回避に努め自己責任において行動します。以下の(1)から(3)の事項については自己責任とし、故意過失がない限り、本学、派遣先大学、学生寮及びホームステイ先は一切責任を負わないことに同意します。

- (1) 学生本人の怪我、病気、死亡等の被害を受けた場合
- (2) 学生本人に持病または既往症等があり、それが発症または症状悪化した場合
- (3) 学生本人の財産が紛失・破損等した場合

②本人が故意過失により第三者(派遣先大学、学生寮及びホームステイ先を含む)に損害を与えた場合には、本人及び連帯保証人がその責任を負い損害の賠償を行うものとし、本学が一切の責任を負わないことに同意します。

- 15. 派遣先大学所在国・地域の安全状況や、本学の定める「東京都市大学留学プログラム等実施基準及び交換留学生海外派遣基準(「TAP募集要項」に掲載)」に基づき、本学が本プログラムの中止や延期を決定し、帰国を命じた場合には、それに従います。その場合も、本学に対して参加費用の返還を求めません。帰国命令に伴い追加費用が発生した場合には学生本人及び連帯保証人がその費用を負担します。
- 16. 留学中に発生した災害、暴動、テロ、事故、疾病(新型コロナウイルス含む)、犯罪その他の不慮の事態によって生じた損害に関して、本学は一切責任を負わないことに同意します。
- 17. 留学中に派遣先大学で修得した科目の成績(個人情報を含む)は、単位認定のために派遣先大学から本学に直接提供されることに同意します。
- 18. 学生寮の退去時において、原状回復が不十分である場合に課される清掃費用、火災報知器を誤って作動させた場合に課される費用、鍵のインロック時にかかる手数料などについて、学生寮より請求があった場合には、直ちにこれを支払います。

#### 【その他の事項】

- 19. プログラムの円滑な運営及び個人の安全確保のために、本誓約書に加えて提出した仮登録・本登録の記載事項、学業成績、英語能力試験の結果、健康状態に関する記録(個人情報や健康診断書など)、生活態度・行動に関する情報及び報告等については、個別の同意なしに本学及び派遣先大学の関係教職員に通知されることに同意します。また、旅行・保険関連業者等に対してもプログラム参加に必要な個人情報(氏名、連絡先、現住所、健康状態の記録など)が提供されることに同意します。
- 20. 本プログラムにおいて、本学及び派遣先大学が、広報・記録等の目的で学生本人を含む写真及び動画を撮影すること、及び、その写真及び動画を広報・記録等の目的でウェブサイト、SNS、印刷物等に使用することを理解し、同意します。また、本学及び派遣先大学が、学生本人の成績情報、アンケート結果、調査データ等を個人が特定されない形で、教育・研究・広報等の目的で公開または活用することについても、理解し、同意します。ただし、学生本人の氏名、所属、これらと紐づいた成績情報など、個人が特定される形での情報については、別途、学生本人の同意を得た上で提供・公開等が行われることを確認します。

## 留 学 前

## Q1 留学の時期や期間を変更することはできますか。

留学の時期は、学部学科によって指定があります。これは学科のカリキュラムと関係しているためです。  
また、大学が運営するプログラムのため、個人の交換留学などとは異なり、期間を短縮、延長することはできません。

## Q2 語学準備講座のクラス分けはどのように決定しますか。

語学準備講座のクラスは、入学時に外国語共通教育センターやデザイン・データ科学部が実施する英語基礎学力調査のスコアを基に決定します。クラス決定後の曜日や時間帯などの変更はできませんが、レベルの相談はいつでも可能です。

## Q3 TOEIC® テストを受験できないのですが、振替受験はできますか。

オンライン方式で行うTOEIC®テストは、一週間程度の受験期間を設けております。  
理由を問わず期間外の受験は一切できませんので、期限内に必ず受験してください。

## Q4 ビザを取得できない場合がありますか。

ビザの発給は、受入国の移民局が判断します。  
万が一、ビザが発給されなかった場合は留学をすることができません。また、日本国籍以外の国籍を有する場合（日本国旅券以外での渡航の場合）は、その国籍によっては追加書類や追加費用、別途英語試験や健康診断が必要となることがあり、ビザの取得に時間を要する場合があります。

## Q5 クレジットカードやデビットカードを持っていません。作ったほうがいいですか。

現地では、現金よりもクレジットカードやデビットカードの利用が主であるため是非持参してください。  
学生ですと限度額（上限）が低く設定される場合もあるため、クレジットカードは2枚程度持参することをおすすめいたします。  
留学前に日本国内で使い慣れておくのと良いでしょう。また、カードを持参する場合現金は300～500ドルを持参すれば十分です。  
詳細は、Webclassに格納されるTAPハンドブックを参照してください。

## 留 学 中

## Q6 留学中に一時帰国することはできますか。

自己都合による帰国は、原則として認めていません。  
ただし、身内の不幸などによるやむを得ない事情の場合は、本学が認めた上で一時帰国をすることができます。  
なお、帰国にかかる費用および帰国手配はすべて自己負担・自己責任となります。



**Q7 留学中に旅行はできますか。**

オーストラリア国内に限り事前に届出した上で可能です。  
ただし、1人の単独旅行は認めていませんので必ずグループで行動してください。

**Q8 現地の治安について教えてください。**

外務省の海外安全情報では、留学先のパースは比較的治安が良いとされています。  
ただし、テロなど、日本に比べて常に注意が必要です。出発前研修会では、リスク管理セミナーを行っております。

**Q9 留学中に怪我や病気になった場合はどうしたらよいですか。**

キャンパス内または近隣のクリニックを利用します。  
海外旅行傷害保険により、指定の病院であれば現地で現金を支払うことなく診察を受けることができます。  
ただし、歯の治療は保険の対象外です。高額な治療費が発生しますので、必ず留学前に虫歯等の治療を済ませてください。

**Q10 留学先の大学でWi-Fiは使えますか。**

学内及び寮にはWi-Fiが整備されており、学生による費用負担なしで利用することができます。  
ただし、オーストラリアは他の大陸と離れた立地にあることから、高速通信が可能な日本と比べてネット環境が良くない場合があります。

**Q11 留学中に日本の携帯電話／スマートフォンは使えますか。**

日本で購入した携帯電話／スマートフォンであっても、海外で利用することは可能です。  
ただし、設定等によっては、その利用金額に上限がなく、数十万円といった高額な費用がかかることがあります。  
留学準備研修では、SIMカードの紹介もありますので、ご確認ください。

**Q12 困ったとき相談をすることはできますか。**

留学前または留学中に悩み事があれば、現地のスタッフや国際支援課、また都市大の学生相談室に相談することが可能です。

**Q13 留学と履修登録期間が重なっていますが、履修登録はどうすればいいですか。**

履修登録はWeb利用による登録方式です。  
サイクルAは2～5月、サイクルBは8～11月に留学しますが、前期(4月)または後期(9月)の履修登録は留学先からオンラインで行うことが可能です。

## 保証人の皆様へ

このたびは、本学の留学プログラムTAP(Tokyo City University Australia Program)にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

TAPは2025年に10周年を迎え、本学を代表する留学プログラムへと成長いたしました。これまで本プログラムを経験した多くの卒業生が、世界を舞台に活躍していることを大きな誇りとし、私たちは今後も一層の発展を目指して取り組んでまいります。

本学では留学を、語学力の向上にとどまらず、異文化理解や自立心を育む大切な学びの機会と位置付けています。そのため、出発前の準備段階から既に「学習」は始まっていると考えております。

各種手続きや研修会、留学中のご連絡は、原則としてすべて学生本人に向けて行います。保証人の皆様を対象とした説明会は設けておらず、緊急時を除き直接ご連絡を差し上げることもございません。あらかじめご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、本プログラム特設ウェブサイトにて、TAPに関する情報を一通りご確認ください。また、学生向け研修会の録画もご覧いただけます。ログイン情報は学生本人に通知しておりますので、ご確認の際は学生にお尋ねください。

プログラム参加中に不明な点が生じた場合、まずは学生本人にお尋ねください。学生本人が解決できない場合には、保証人の皆様から本学へ直接ご連絡いただくのではなく、学生が本学に問い合わせるようご助言いただければ幸いです。留学生活では、学生自身が困難に直面し、解決策を考え行動することが重要であり、準備段階においても保証人の皆様には適切な距離感をもって見守り、ご支援いただければと存じます。

一方で、緊急事態や学生の安全・健康に関してご不安がある場合には、どうぞ遠慮なく本学までご連絡ください。

以上の点をご理解のうえ、ぜひ本プログラムへのご参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。

## プログラムに関するお問い合わせは

国際支援課 留学プログラム担当

[E-MAIL]

[TEL]

**studyabroad@tcu.ac.jp**   **03-6809-7471** (代)

[世田谷キャンパス] 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1

都市大 留学

検索

さらに  
詳しい  
情報は

Webサイト、パンフレットをご覧ください

[Webサイト]

**<https://tap.tcu.ac.jp/>**



TOKYO CITY UNIVERSITY  
**AUSTRALIA PROGRAM 2026**



協力



エディスコーワン大学



マードック大学



西オーストラリア州政府

 **東京都市大学**  
TOKYO CITY UNIVERSITY